

## 会 議 録

|              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| 会議の名称        | 令和4年度 第9回 栃木中央地域会議                |
| 開催日時         | 令和5年2月28日(火)<br>18時30分開会～19時28分閉会 |
| 開催場所         | キョクトウとちぎ蔵の街楽習館                    |
| 出席者及び欠席者氏名   | 別記1のとおり                           |
| 事務局職員職氏名     | 別記1のとおり                           |
| その他出席者等      | 別記1のとおり                           |
| 会議事項         | 別記2のとおり                           |
| 会議の公開又は非公開の別 | 公開                                |
| 傍聴人の数        | 0人                                |
| その他必要事項      | なし                                |
| 会議の経過(議事の要旨) | 別記3のとおり                           |

-----

別記1 出席者及び事務局

○出席者

|     |        |     |        |
|-----|--------|-----|--------|
| 会 長 | 古澤 利夫  | 副会長 | 岡田 真由美 |
| 委 員 | 五十畑 文子 | 委 員 | 大栗 利夫  |
| 委 員 | 大塚 昌峰  | 委 員 | 小倉 治雄  |
| 委 員 | 杉戸 洋   | 委 員 | 下枝 順子  |
| 委 員 | 中村 絹江  | 委 員 | 野口 邦子  |
| 委 員 | 林 美佐子  | 委 員 | 堀越 元樹  |
| 委 員 | 松本 真由美 | 委 員 | 村田 弘子  |

以上14名

○欠席者

|     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|
| 委 員 | 高橋 正行 | 委 員 | 水越 房代 |
|-----|-------|-----|-------|

○事務局

【地域振興部】

高野 義宏（地域政策課長）  
鈴木 邦彦（地域政策課長補佐）  
関口 智（地域政策課主査）  
関根 光里（地域政策課主任）

○その他出席者

【危機管理課】

高久 一典（危機管理課長）  
松永 儒（危機管理課主査）

## 別記2 会議事項（議題及び会議結果）

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 連絡事項

- ・地域会議連絡調整会議について
- ・R5年度地域予算提案事業（日光例幣使街道認知度向上事業）について

### 4 議 事

- ・【情報提供】指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて（危機管理課）
- ・地域未来ビジョンについて
- ・中央地域会議2年間を振り返っての感想

### 5 その他

### 6 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

| 発言者   | 議題・発言内容・決定事項   |
|-------|--|
| 会長    | <p>危機管理課からの情報提供として、指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて説明をお願いいたします。</p>  |
| 危機管理課 | <p>市が指定する避難所には、「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の2種類があります。「指定緊急避難場所」は、洪水など命の危険が差し迫った際に、安全を確保するため緊急的に避難する場所のことを指し、洪水・土砂・自身の災害の区分ごとに指定があります。「指定避難所」は、災害発生後、自宅に戻ることが危険な状態が続いている場合や、自宅に戻れなくなってしまった場合、一定期間避難生活を送る場所を指します。こちらは、災害ごとの区別はありません。</p> <p>現在、栃木市には116か所の避難所等があり、一部の避難所等について、令和5年度から指定の見直しを行います。建物の耐震性の問題や収容人員の問題、施設の有る区域の安全性が主な見直しの理由です。</p> <p>今後、市のホームページや広報とちぎ等へ掲載し周知をして参ります。</p> |
| 委員    | <p>前回の水害の時、自宅近くの開運橋が洪水であふれ、キョクトウに避難してと言われたが行くことが出来なかった。</p> <p>巴波川の左岸に住んでいる人は、栃木東中学校へ避難するようにしてほしい。うちの町内では、サンルートへ緊急的に避難をさせてもらいました。</p> <p>キョクトウ周辺の入舟町の人々も、自宅周辺が浸水して避難が出来ないと思うので、今一度検討してほしい。</p>   |
| 危機管理課 | <p>市内の避難所、特に優先的に開設する避難所は、住んでいる地域に関わらず、どこの避難所に避難しても良いことになっています。万町、巴波川の左岸にお住まいの方は、栃木東中学校も避難所として利用いただけますし、その他ご自身で避難のしやすい、より安全に避難できる避難所を利用していただくことが可能です。</p> <p>広報不足でありましたので、今後は、より安全に避難できる避難所への避難を周知して参ります。</p>   |
| 委員    | <p>サンルートへ避難したというお話がありましたが、市有施設だけでなく民間の施設への働きかけが必要だと思います。</p>   |
| 委員    | <p>2回の水害では避難した人が損害を受けていて、やっと見直しがされました。避難所も、市役所の誰が何時からを開けることが出来るのか、避難所に行った人が危険な目にあっていたので、まずは自分の命を守るということを第一に周知してほしい。</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 委員    | <p>栃木市は扇状地です。市は下へ逃げろと言いますが、下は低いので水は出ます。そういった地形についても、危機管理課の方には知ってもらい作ってほしい。</p>   |
| 委員    | <p>優先避難所の定義について教えてください。</p>  |
| 危機管理課 | <p>市内には多くの避難所がありますが、大雨や洪水等の風水害に警戒するため、いち早く効率的に避難所を開設するため、市内に23か所の優先避難所を設けました。</p> <p>台風や線状降水帯が接近しそうということが分かった際に、23か所を真っ先に開設する避難所として準備しています。</p>  |
| 委員    | <p>優先避難所に学校が含まれていますが、授業などに差し支えないのでしょうか。</p>  |
| 危機管理課 | <p>避難する場所、多くは体育館等可能な限り授業に差支えない場所を使用することとなっておりますが、災害の状況によっては学校の協力を頂くこととなりますので、出来るだけ早く授業が再開できるように対応させていただきます。</p>  |
| 委員    | <p>例えば、栃木東中や栃木西中は2階以上に避難と記載されていますが、体育館は2階建てではないと思いますので、教室への避難を想定していますか。</p>  |
| 危機管理課 | <p>その通りです。</p> <p>また、先ほどいただいたご意見で、民間施設との協定のお話がありましたが、市内で申し出を頂いた民間企業と積極的に協定を結んでおります。現在も、新たな避難場所として協定を進めているところですので、これからも民間企業との協定を積極的に進めることを広くお知らせしたいと考えております。</p> <p>もう1点、避難所を開設する職員についてのご質問を頂きました。関東東北豪雨の際は、準備が出来ておらず、避難所をすぐに開くことが出来ずに、市民の皆様には大変なご迷惑をおかけしました。その教訓を受け、現在のガイドラインでは、「高齢者等避難」は出来る限り昼間に行うようになっております。23か所の優先避難所は、避難所班の担当職員がそれぞれ付いており、職員が駆け付けられる時間に開設準備を行うこととしています。</p> <p>令和元年の東日本台風の際には、高齢者等避難は午後2時15分に避難所を開設しました。</p> |
| 委員    | <p>私の自治会では、サンルートホテルと栃木中央クリニックの2施設と緊急でやむを得ない時には、避難を受け入れるという文書を交わしています。そういった自治会も多いと思いますので、注意深く聞いていただけるとありがたいです。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | <p>他にご意見はありますか。</p> <p>では、続いて地域未来ビジョンについて事務局より説明をお願いします。</p>  |
| 事務局 | <p>お配りした資料は、第1章に地域未来ビジョンの概要として、策定の背景や趣旨を、第2章に、委員の皆様にご検討いただいた、栃木中央地域の未来ビジョンと他の7つの地域の未来ビジョンを、第3章にまとめとして、地域未来ビジョンを今後の街づくりにどのように活かしていくかを記載しました。</p> <p>栃木中央地域未来ビジョンですが、前回の会議で出た意見を基に、キャッチフレーズ案を事務局で作成し委員の皆様へお配りしたところ、ご意見をいただいた11名の内6名の方が「うずま川が歴史をつなぐ 粋いき蔵の街」へ投票いただいたことから、こちらを栃木中央地域のキャッチフレーズといたしました。</p> <p>地域未来ビジョンを今後どのように活用していくかですが、それぞれの事業イメージを地域会議の地域予算や実働組織の地域づくり応援補助金を活用して事業化したり、市で事業を計画し国や県の補助金を活用して事業化するなど、様々なアプローチでまちづくりのテーマを実施していくことで、栃木中央地域が明るい未来の姿になっていくことを考えています。</p> <p>地域未来ビジョンを参考にすることで、他の地域で抱えている課題や今後取り組もうとしていることに対し、地域の枠を超えて連携をしていくことも重要と考えています。例えば、水害に対し、流域全体で課題を共有し治水対策を行うことや、複数の地域にまたがる日光例幣使街道を隣接する地域で連携して課題の解決に取り組むことなどがあげられます。</p> |
| 会長  | <p>ただ今の説明に関し、不明な点などあれば举手願います。</p> <p>本日で第4期の中央地域会議は最後となりますので、お一人ずつ2年間を振り返っての感想を頂戴できればと思います。</p> <p>令和3年4月からの2年間の任期でしたが、コロナに翻弄され会議も中止を余儀なくされました。令和5年4月より第5期がスタートしますが、微力ながら中央地域の為に力になりたいと考えています。</p>  |
| 委員  | <p>委員の皆さんの栃木に対する熱い思いや知識を、まずは市内の人に広めることが大切なのではと思いました。民生委員の立場から参加をしましたが、民生委員自体が若い人の集まりではないので、未来のことを話し合うのであれば、もっと若い人たちが入れる会議にすれば、違う意見が聞けるのではと思いました。</p>  |
| 委員  | <p>地域予算として市長に提案する際、この事業で良かったのか、それと同時に今後の地域会議として目に見えることだけでなく、中央地域に何ができるのか、模索しながら今日も参りましたが、なかなか浮かんできません。若い委員さんを中心として、子ども達に参加できるような予算の付け方を次の2年間で検討いただければと思います。</p>   |

|    |   |
|----|---|
| 委員 | <p>地域会議の一員ではなくなりますが、近くに例幣使街道や巴波川がありますので、今後も様々な場面で役に立てることがあるかと思います。</p>  |
| 委員 | <p>現地を自分の目で見て足で確かめられたことは、良いものだったと思いました。</p>   |
| 委員 | <p>知らないことだらけで、勉強していくのが精一杯だったというのが実感です。会議で皆さんの意見を聞く中で、ハード面を整えるだけでなく、ソフト面も大切だと気付きました。</p>   |
| 委員 | <p>行政というのは、さっと動けない。今日の避難所もそうです。危機管理課もやっと動いて見直してくれました。我々は、行政が出来ないところを補完してやっていければ、より良い中央地域になるのではと思います。</p>  |
| 委員 | <p>地元の方の説明を聞き、自分の目で現地を見ることが出来たフィールドワークはとても良かったと思います。また、地域自治交流会で他の地域の方と意見交換をし、それぞれの課題を聞くことが出来たのも良い経験でした。中央地域会議に参加したことで、まちづくり実働組織との繋がりも出来、避難所運営の研修や防災のイベント等を通して、市民の意識の高まりを感じる事が出来ました。</p> |
| 委員 | <p>会議を通じて、皆さんの災害に対する意識や自治会に対する思いを聞くことが出来ました。民生委員という立場から、高齢者にばかり目が行きがちで、新しいものに目がいかなかったと感じました。中央地域と言っても、自分の住んでいる地域以外は、知らないことが多くあり、来年度の日光例幣使街道の事業についても、友人を案内して広めていきたいと思っています。</p>          |
| 委員 | <p>皆さん一人ひとりが栃木市への地域愛に溢れていて、地域の為に尽力されていることに心を動かされました。行動しなければダメなんだということに気づき、実働組織のメンバーとなり、地域の皆さんと一緒に防災関連の事業について活動を始めました。段々と栃木市民であることに対し、嬉しい気持ちが大きくなり、出来ることは少しでも力を注いでいこうと思っています。</p>        |
| 委員 | <p>年齢から思うことは、若い人たちから付度される立場になっているので、意見を言わないように意識をしています。生活をし、商売をし、生計を立てている人が、経済的にちゃんと出来る方法を取らないと、いい街づくりは出来ないのではないかと思います。</p>   |
| 委員 | <p>この2年間はコロナ禍もあり、会議の回数も少なく限られた時間の中で、決められた議題について議論をして終わりという感じで、交流もなかった印象です。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>栃木の中心で様々な団体の方が集まっているので、自分達の普段の活動から、こんなことが出来るという様な、お互いが交流できる会議になると良かったと感じています。席も決められていて同じ場所なので、話すタイミングもありませんでした。</p> <p>事務局へは、今後の地域会議への要望として、委員同士の意見交換が出来、未来へ向けた話し合いが出来るような運営を望みます。</p> |
| 委員  | <p>皆さんから色々な意見を聞くことが出来、勉強になる会議で、フィールドワークが印象に残っています。</p>  |
| 会長  | <p>皆さんありがとうございました。以上で議事は終了しましたので、事務局へお返しします。</p>  |
| 事務局 | <p>大変お世話になりました委員の皆さまへ感謝申し上げ、事務局よりお礼の挨拶とさせていただきます、令和4年度第9回並びに第4期の栃木中央地域会議を終了いたします。</p>   |